

# 自民総裁に石破氏

## 決選投票 高市氏破る

自民党総裁選は27日、党本部で投票され、石破茂元幹事長(67)が第28代総裁に選出された。1回目の投票で過半数に達した候補者はなく、上位2人による決選投票の結果、石破氏が高市早苗経済安全保障担当相(63)を破った。10月1日召集の臨時国会で、岸田文雄首相の後継となる第102代首相に指名される。早期の衆院解散・総選挙が取り沙汰されており、石破氏の判断に注目が集まる。

決選投票の結果は、石破氏215票、高市氏194票で21票差だった。内訳は石破氏が議員票189、地方票26だったのに対し、高市氏が議員票173、地方票21だった。

任期は2027年9月までの3年間。石破氏は党役員人事に着手し、新執行部を発足させる。

総裁選は岸田氏の総裁任期満了に伴うもので、派閥裏金事件に端

を発する派閥解消の流れを受け、過去最

多9人の争いとなった。石破、高市両氏

のほか、小林鷹之前経済安保相(49)、林

芳正官房長官(63)、小泉進次郎元環境相

(43)、上川陽子外相(71)、加藤勝信元官

房長官(68)、河野太郎デジタル相(61)、

茂木敏充幹事長(68)が立候補した。

